

平成25年度初期環境調査分析機関報告データ

調査対象物質	地方 公共団体	地点 番号	調査地点	測定値	報告時
				検体1	検出下限値
[1-1] クロルマジノン 初期環境調査・水質(ng/L) 地点ベース検出頻度：0/18(欠測等：0) 検体ベース検出頻度：0/18(欠測等：0) 検出範囲：nd 検出下限値範囲：0.014～0.038 検出下限値：0.038 要求検出下限値：0.11	札幌市	1	豊平川中沼（札幌市）	nd	0.038
		2	新川第一新川橋（札幌市）	nd	0.038
	宮城県	3	迫川二ツ屋橋（登米市）	nd	0.014
		4	白石川さくら歩道橋（柴田町）	nd	0.014
	秋田県	5	米代川鷹巣橋（北秋田市）	nd	0.014
		6	秋田運河（秋田市）	nd	0.014
		7	雄物川岳見橋（大仙市）	nd	0.014
	千葉県	8	養老川・浅井橋（市原市）	nd	0.014
	横浜市	9	鶴見川亀の子橋（横浜市）	nd	0.014
	新潟県	10	信濃川下流（新潟市）	nd	0.014
	愛知県	11	名古屋港	nd	0.03
	名古屋市	12	堀川港新橋（名古屋市）	nd	0.014
		13	琵琶湖南比良沖中央	nd	0.014
	滋賀県	14	琵琶湖唐崎沖中央	nd	0.014
		15	大和川河口（堺市）	nd	0.014
	福岡市	16	博多湾	nd	0.014
	佐賀県	17	伊万里湾	nd	0.014
	大分県	18	大分川河口	nd	0.014
[1-2] 酢酸クロルマジノン 初期環境調査・水質(ng/L) 地点ベース検出頻度：13/18(欠測等：0) 検体ベース検出頻度：13/18(欠測等：0) 検出範囲：nd～0.76 検出下限値範囲：0.012～0.033 検出下限値：0.033 要求検出下限値：-	札幌市	1	豊平川中沼（札幌市）	nd	0.033
		2	新川第一新川橋（札幌市）	nd	0.033
	宮城県	3	迫川二ツ屋橋（登米市）	nd	0.012
		4	白石川さくら歩道橋（柴田町）	0.16	0.012
	秋田県	5	米代川鷹巣橋（北秋田市）	0.017	0.012
		6	秋田運河（秋田市）	0.025	0.012
		7	雄物川岳見橋（大仙市）	0.41	0.012
	千葉県	8	養老川・浅井橋（市原市）	0.042	0.012
	横浜市	9	鶴見川亀の子橋（横浜市）	0.04	0.012
	新潟県	10	信濃川下流（新潟市）	0.76	0.012
	愛知県	11	名古屋港	nd	0.032
	名古屋市	12	堀川港新橋（名古屋市）	0.014	0.012
		13	琵琶湖南比良沖中央	0.22	0.012
	滋賀県	14	琵琶湖唐崎沖中央	0.025	0.012
		15	大和川河口（堺市）	0.35	0.012
	福岡市	16	博多湾	nd	0.012
	佐賀県	17	伊万里湾	0.09	0.012
	大分県	18	大分川河口	0.03	0.012
[2-1] 2,3-ジクロロアニリン 初期環境調査・水質(ng/L) 地点ベース検出頻度：0/18(欠測等：0) 検体ベース検出頻度：0/18(欠測等：0) 検出範囲：nd 検出下限値範囲：0.95～3.1 検出下限値：3.1 要求検出下限値：32	札幌市	1	豊平川中沼（札幌市）	nd	0.95
		2	新川第一新川橋（札幌市）	nd	0.95
	仙台市	3	広瀬川広瀬大橋（仙台市）	nd	3.0
	埼玉県	4	荒川秋ヶ瀬取水堰（志木市）	nd	1.1
	東京都	5	荒川河口（江東区）	※1.3	1.1
		6	隅田川河口	nd	1.1
	横浜市	7	鶴見川亀の子橋（横浜市）	nd	1.1
		8	横浜港	nd	1.1
	石川県	9	犀川河口	nd	3.1
	愛知県	10	名古屋港	※2.5	1.1
	名古屋市	11	堀川港新橋（名古屋市）	nd	1.1
	三重県	12	四日市港	nd	3.1
	京都府	13	宮津港	nd	1.1
	大阪府	14	大和川河口（堺市）	nd	1.1
	大阪市	15	大川毛馬橋（大阪市）	nd	1.1
		16	大阪港	nd	1.1
	福岡県	17	雷山川加布羅橋（前原市）	nd	3.1
		18	大牟田沖（諏訪川河口）	nd	3.1

(注1) 「検出頻度（地点ベース）」とは検出地点数/調査地点数（欠測等は除く）を、

「検出頻度（検体ベース）」とは検出検体数/調査検体数（欠測等は除く）をそれぞれ意味する。

(注2) 「欠測等」とは、測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体

(注3) nd：不検出

(注4) ※：参考値（調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」

以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない）

調査対象物質	地方 公共団体	地点 番号	調査地点	測定値	報告時
				検体1	検出下限値
[2-2] 2,4-ジクロロアニリン 初期環境調査・水質(ng/L) 地点ベース検出頻度：3/18(欠測等：0) 検体ベース検出頻度：3/18(欠測等：0) 検出範囲：nd～2.8 検出下限値範囲：0.5～1.1 検出下限値：1.1 要求検出下限値：32	札幌市	1	豊平川中沼（札幌市）	nd	1.1
		2	新川第一新川橋（札幌市）	nd	1.1
	仙台市	3	広瀬川広瀬大橋（仙台市）	nd	1.1
		埼玉県	4	荒川秋ヶ瀬取水堰（志木市）	nd
	東京都		5	荒川河口（江東区）	nd
		6	隅田川河口	nd	1.0
	横浜市	7	鶴見川亀の子橋（横浜市）	2.5	1.0
		8	横浜港	nd	1.0
	石川県	9	犀川河口	nd	0.5
	愛知県	10	名古屋港	2.4	1.0
	名古屋市	11	堀川港新橋（名古屋市）	nd	1.0
	三重県	12	四日市港	nd	0.5
	京都府	13	宮津港	nd	1.0
	大阪府	14	大和川河口（堺市）	2.8	1.0
	大阪市	15	大川毛馬橋（大阪市）	nd	1.0
		16	大阪港	nd	1.0
	福岡県	17	雷山川加布羅橋（前原市）	nd	0.5
		18	大牟田沖（諏訪川河口）	nd	0.5
[2-3] 2,5-ジクロロアニリン 初期環境調査・水質(ng/L) 地点ベース検出頻度：1/18(欠測等：0) 検体ベース検出頻度：1/18(欠測等：0) 検出範囲：nd～2.2 検出下限値範囲：0.9～1.8 検出下限値：1.8 要求検出下限値：32	札幌市	1	豊平川中沼（札幌市）	nd	1.0
		2	新川第一新川橋（札幌市）	nd	1.0
	仙台市	3	広瀬川広瀬大橋（仙台市）	nd	1.8
		埼玉県	4	荒川秋ヶ瀬取水堰（志木市）	nd
	東京都		5	荒川河口（江東区）	nd
		6	隅田川河口	nd	0.9
	横浜市	7	鶴見川亀の子橋（横浜市）	nd	0.9
		8	横浜港	2.2	0.9
	石川県	9	犀川河口	nd	1.8
	愛知県	10	名古屋港	※1.3	0.9
	名古屋市	11	堀川港新橋（名古屋市）	nd	0.9
	三重県	12	四日市港	nd	1.8
	京都府	13	宮津港	nd	0.9
	大阪府	14	大和川河口（堺市）	nd	0.9
	大阪市	15	大川毛馬橋（大阪市）	nd	0.9
		16	大阪港	nd	0.9
	福岡県	17	雷山川加布羅橋（前原市）	nd	1.8
		18	大牟田沖（諏訪川河口）	nd	1.8
[2-4] 2,6-ジクロロアニリン 初期環境調査・水質(ng/L) 地点ベース検出頻度：0/18(欠測等：0) 検体ベース検出頻度：0/18(欠測等：0) 検出範囲：nd 検出下限値範囲：1.0～1.5 検出下限値：1.5 要求検出下限値：32	札幌市	1	豊平川中沼（札幌市）	nd	1.0
		2	新川第一新川橋（札幌市）	nd	1.0
	仙台市	3	広瀬川広瀬大橋（仙台市）	nd	1.2
		埼玉県	4	荒川秋ヶ瀬取水堰（志木市）	nd
	東京都		5	荒川河口（江東区）	nd
		6	隅田川河口	nd	1.2
	横浜市	7	鶴見川亀の子橋（横浜市）	nd	1.2
		8	横浜港	nd	1.2
	石川県	9	犀川河口	nd	1.5
	愛知県	10	名古屋港	nd	1.2
	名古屋市	11	堀川港新橋（名古屋市）	nd	1.2
	三重県	12	四日市港	nd	1.5
	京都府	13	宮津港	nd	1.2
	大阪府	14	大和川河口（堺市）	nd	1.2
	大阪市	15	大川毛馬橋（大阪市）	nd	1.2
		16	大阪港	nd	1.2
	福岡県	17	雷山川加布羅橋（前原市）	nd	1.5
		18	大牟田沖（諏訪川河口）	nd	1.5

(注1)「検出頻度（地点ベース）」とは検出地点数/調査地点数（欠測等は除く）を、

「検出頻度（検体ベース）」とは検出検体数/調査検体数（欠測等は除く）をそれぞれ意味する。

(注2)「欠測等」とは、測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体

(注3) nd：不検出

(注4)※：参考値（調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」

以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない）

調査対象物質	地方 公共団体	地点 番号	調査地点	測定値	報告時
				検体1	検出下限値
[2-5] 3,4-ジクロロアニリン 初期環境調査・水質(ng/L) 地点ベース検出頻度：7/18(欠測等：0) 検体ベース検出頻度：7/18(欠測等：0) 検出範囲：nd~25 検出下限値範囲：0.8~2.6 検出下限値：2.6 要求検出下限値：32	札幌市	1	豊平川中沼（札幌市）	nd	2.0
		2	新川第一新川橋（札幌市）	nd	2.0
	仙台市	3	広瀬川広瀬大橋（仙台市）	nd	1.8
		埼玉県	4	荒川秋ヶ瀬取水堰（志木市）	※1.6
	東京都		5	荒川河口（江東区）	11
		6	隅田川河口	7.6	0.8
	横浜市	7	鶴見川亀の子橋（横浜市）	25	0.8
		8	横浜港	3.2	0.8
	石川県	9	犀川河口	4.0	2.6
	愛知県	10	名古屋港	※1.0	0.8
	名古屋市	11	堀川港新橋（名古屋市）	11	0.8
	三重県	12	四日市港	nd	2.6
	京都府	13	宮津港	nd	0.8
	大阪府	14	大和川河口（堺市）	5.8	0.8
	大阪市	15	大川毛馬橋（大阪市）	※1.9	0.8
		16	大阪港	※2.1	0.8
	福岡県	17	雷山川加布羅橋（前原市）	nd	2.6
		18	大牟田沖（諏訪川河口）	nd	2.6
[2-6] 3,5-ジクロロアニリン 初期環境調査・水質(ng/L) 地点ベース検出頻度：0/18(欠測等：0) 検体ベース検出頻度：0/18(欠測等：0) 検出範囲：nd 検出下限値範囲：0.5~2.3 検出下限値：2.3 要求検出下限値：32	札幌市	1	豊平川中沼（札幌市）	nd	2.3
		2	新川第一新川橋（札幌市）	nd	2.3
	仙台市	3	広瀬川広瀬大橋（仙台市）	nd	0.7
		埼玉県	4	荒川秋ヶ瀬取水堰（志木市）	nd
	東京都		5	荒川河口（江東区）	nd
		6	隅田川河口	nd	1.0
	横浜市	7	鶴見川亀の子橋（横浜市）	nd	1.0
		8	横浜港	nd	1.0
	石川県	9	犀川河口	nd	0.5
	愛知県	10	名古屋港	nd	1.0
	名古屋市	11	堀川港新橋（名古屋市）	nd	1.0
	三重県	12	四日市港	nd	0.5
	京都府	13	宮津港	nd	1.0
	大阪府	14	大和川河口（堺市）	nd	1.0
	大阪市	15	大川毛馬橋（大阪市）	nd	1.0
		16	大阪港	nd	1.0
	福岡県	17	雷山川加布羅橋（前原市）	nd	0.5
		18	大牟田沖（諏訪川河口）	nd	0.5
[4] ジナトリウム=4-アミノ-3-[4'-(2,4-ジアミノフェニルアゾ)-1,1'-ビフェニル-4-イルアゾ]-5-ヒドロキシ-6-フェニルアゾ-2,7-ナフトレンジルスルホナート（別名：CIダイレクトブラック38） 初期環境調査・水質(ng/L) 地点ベース検出頻度：0/14(欠測等：0) 検体ベース検出頻度：0/14(欠測等：0) 検出範囲：nd 検出下限値範囲：16~34 検出下限値：34 要求検出下限値：20,000	岩手県	1	豊沢川（花巻市）	nd	29
	群馬県	2	鍋川多胡橋（高崎市）	nd	22
	千葉県	3	養老川・浅井橋（市原市）	nd	18
		東京都	4	荒川河口（江東区）	nd
	5		隅田川河口	nd	22
	横浜市	6	鶴見川亀の子橋（横浜市）	nd	21
		7	横浜港	nd	22
	名古屋市	8	堀川港新橋（名古屋市）	nd	16
	京都市	9	桂川宮前橋（京都市）	nd	19
	大阪府	10	大和川河口（堺市）	nd	21
	和歌山県	11	紀の川河口紀の川大橋（和歌山市）	nd	34
	福岡市	12	博多湾	nd	20
	佐賀県	13	伊万里湾	nd	18
	大分県	14	大分川河口	nd	23

(注1) 「検出頻度（地点ベース）」とは検出地点数/調査地点数（欠測等は除く）を、
「検出頻度（検体ベース）」とは検出検体数/調査検体数（欠測等は除く）をそれぞれ意味する。

(注2) 「欠測等」とは、測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体

(注3) nd：不検出

(注4) ※：参考値（調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」
以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない）

調査対象物質	地方 公共団体	地点 番号	調査地点	測定値	報告時
				検体1	検出下限値
[5] N,N-ジメチル-n-オクタデシルアミン 初期環境調査・水質(ng/L) 地点ベース検出頻度：5/12(欠測等：2) 検体ベース検出頻度：5/12(欠測等：2) 検出範囲：nd~15 検出下限値範囲：0.31~0.84 検出下限値：0.80 要求検出下限値：0.99	東京都	1	荒川河口（江東区）	15	0.41
		2	隅田川河口	2.8	0.41
	横浜市	3	鶴見川亀の子橋（横浜市）	1.9	0.31
		4	横浜港	※0.55	0.31
	名古屋市	5	堀川港新橋（名古屋市）	※0.5	0.31
	三重県	6	四日市港	nd	0.80
	京都府	7	宮津港	---	---
	大阪府	8	大和川河口（堺市）	5.3	0.36
	和歌山県	9	紀の川河口紀の川大橋（和歌山市）	nd	0.80
		10	旭川乙井手堰（岡山市）	nd	0.80
	岡山県	11	水島沖	---	---
		12	雷山川加布羅橋（前原市）	2.6	0.84
	福岡県	13	大牟田沖（諏訪川河口）	nd	0.79
		14	伊万里湾	nd	0.35
[6] N,N-ジメチルドデシルアミン 初期環境調査・水質(ng/L) 地点ベース検出頻度：3/13(欠測等：1) 検体ベース検出頻度：3/13(欠測等：1) 検出範囲：nd~1,200 検出下限値範囲：0.9~6.2 検出下限値：6.2 要求検出下限値：10	東京都	1	荒川河口（江東区）	1,200	1.2
		2	隅田川河口	77	1.2
	横浜市	3	鶴見川亀の子橋（横浜市）	※3.7	1.0
		4	横浜港	nd	0.9
	福井県	5	笙の川三島橋（敦賀市）	5.2	1.2
	名古屋市	6	堀川港新橋（名古屋市）	nd	0.9
	三重県	7	四日市港	nd	4.7
	京都府	8	宮津港	---	---
	大阪府	9	大和川河口（堺市）	6.3	1.1
	和歌山県	10	紀の川河口紀の川大橋（和歌山市）	nd	4.7
		11	旭川乙井手堰（岡山市）	nd	6.2
	岡山県	12	水島沖	nd	6.2
		13	雷山川加布羅橋（前原市）	nd	4.9
	福岡県	14	大牟田沖（諏訪川河口）	nd	4.7
[7] 2-(チオシアナートメチルチオ)-1,3-ベン ゾチアゾール（別名：TCMTB） 初期環境調査・水質(ng/L) 地点ベース検出頻度：1/15(欠測等：0) 検体ベース検出頻度：1/15(欠測等：0) 検出範囲：nd~1.1 検出下限値範囲：0.19~0.82 検出下限値：0.82 要求検出下限値：2.9	宮城県	1	迫川二ツ屋橋（登米市）	nd	0.22
		2	白石川さくら歩道橋（柴田町）	nd	0.23
	栃木県	3	田川（宇都宮市）	nd	0.82
	東京都	4	荒川河口（江東区）	nd	0.22
		5	隅田川河口	nd	0.25
	横浜市	6	鶴見川亀の子橋（横浜市）	nd	0.19
		7	横浜港	nd	0.19
	新潟県	8	信濃川下流（新潟市）	nd	0.21
	石川県	9	犀川河口	nd	0.82
	名古屋市	10	堀川港新橋（名古屋市）	nd	0.19
	三重県	11	四日市港	nd	0.81
	大阪府	12	大和川河口（堺市）	nd	0.2
		13	徳山湾	nd	0.82
	山口県	14	萩沖	1.1	0.82
		15	博多湾	nd	0.42
[8] o-テルフェニル 初期環境調査・水質(ng/L) 地点ベース検出頻度：0/15(欠測等：0) 検体ベース検出頻度：0/15(欠測等：0) 検出範囲：nd 検出下限値範囲：0.20~0.46 検出下限値：0.46 要求検出下限値：12	北海道	1	石狩川河口石狩河口橋（石狩市）	nd	0.46
	東京都	2	荒川河口（江東区）	nd	0.20
		3	隅田川河口	nd	0.20
	横浜市	4	鶴見川亀の子橋（横浜市）	nd	0.20
		5	横浜港	nd	0.20
	愛知県	6	名古屋港	nd	0.20
	名古屋市	7	堀川港新橋（名古屋市）	nd	0.20
	三重県	8	四日市港	nd	0.46
	大阪府	9	大和川河口（堺市）	nd	0.20
		10	徳山湾	nd	0.46
	山口県	11	萩沖	nd	0.46
		12	高松港	nd	0.46
	福岡県	13	雷山川加布羅橋（前原市）	nd	0.46
		14	大牟田沖（諏訪川河口）	nd	0.46
	北九州市	15	洞海湾	※0.33	0.20

(注1)「検出頻度（地点ベース）」とは検出地点数/調査地点数（欠測等は除く）を、
「検出頻度（検体ベース）」とは検出検体数/調査検体数（欠測等は除く）をそれぞれ意味する。

(注2) ---：欠測等

(注3)「欠測等」とは、測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体

(注4) nd：不検出

(注5) ※：参考値（調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」
以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない）

調査対象物質	地方 公共団体	地点 番号	調査地点	測定値	報告時
				検体1	検出下限値
[11] ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート 初期環境調査・水質(ng/L) 地点ベース検出頻度：3/11(欠測等：3) 検体ベース検出頻度：3/11(欠測等：3) 検出範囲：nd~10 検出下限値範囲：1.0~2.4 検出下限値：2.4 要求検出下限値：380 本物質の測定結果は、2-フェニルフェノールとして測定された値をナトリウム塩として質量換算したものであり、ナトリウム以外の塩に由来する2-フェニルフェノールが含まれる可能性が有る。	東京都	1	荒川河口（江東区）	---	---
		2	隅田川河口	---	---
	横浜市	3	鶴見川亀の子橋（横浜市）	4.7	2.4
		4	横浜港	nd	2.4
	石川県	5	犀川河口	10	1.0
	愛知県	6	名古屋港	nd	2.4
	名古屋市	7	堀川港新橋（名古屋市）	nd	2.4
	滋賀県	8	琵琶湖南比良沖中央	nd	1.0
		9	琵琶湖唐崎沖中央	nd	1.0
	京都府	10	宮津港	---	---
	大阪府	11	大和川河口（堺市）	5.3	2.4
	福岡県	12	雷山川加布羅橋（前原市）	nd	1.0
		13	大牟田沖（諏訪川河口）	nd	1.0
	北九州市	14	洞海湾	nd	1.0
[12] 3-ヒドロキシエストロ-1,3,5(10),7-テトラエン-17-オン（別名：エクイリン） 初期環境調査・水質(ng/L) 地点ベース検出頻度：0/16(欠測等：0) 検体ベース検出頻度：0/16(欠測等：0) 検出範囲：nd 検出下限値範囲：0.012~0.17 検出下限値：0.17 要求検出下限値：0.11	札幌市	1	豊平川中沼（札幌市）	nd	0.17
		2	新川第一新川橋（札幌市）	nd	0.17
	宮城県	3	迫川二ツ屋橋（登米市）	nd	0.012
		4	白石川さくら歩道橋（柴田町）	nd	0.012
	秋田県	5	米代川鷹巣橋（北秋田市）	nd	0.012
		6	秋田運河（秋田市）	nd	0.012
	千葉県	7	雄物川岳見橋（大仙市）	nd	0.012
		8	養老川・浅井橋（市原市）	nd	0.012
	新潟県	9	信濃川下流（新潟市）	nd	0.012
	富山県	10	井田川高田橋（富山市）	nd	0.012
	愛知県	11	名古屋港	nd	0.060
	名古屋市	12	堀川港新橋（名古屋市）	※0.017	0.012
	滋賀県	13	琵琶湖南比良沖中央	nd	0.012
		14	琵琶湖唐崎沖中央	nd	0.012
	大阪府	15	大和川河口（堺市）	nd	0.012
	佐賀県	16	伊万里湾	nd	0.012
[13] 4,4'-ビピリジル 初期環境調査・水質(ng/L) 地点ベース検出頻度：0/14(欠測等：0) 検体ベース検出頻度：0/14(欠測等：0) 検出範囲：nd 検出下限値範囲：0.23~0.9 検出下限値：0.9 要求検出下限値：680	岩手県	1	豊沢川（花巻市）	nd	0.23
	群馬県	2	鐺川多胡橋（高崎市）	nd	0.9
	埼玉県	3	柳瀬川志木大橋（志木市）	nd	0.9
	千葉県	4	養老川・浅井橋（市原市）	nd	0.9
		5	荒川河口（江東区）	nd	0.9
	東京都	6	隅田川河口	nd	0.9
		7	鶴見川亀の子橋（横浜市）	nd	0.9
	横浜市	8	横浜港	nd	0.9
		9	井田川高田橋（富山市）	nd	0.9
	富山県	10	名古屋港	nd	0.9
	名古屋市	11	堀川港新橋（名古屋市）	nd	0.9
	大阪府	12	大和川河口（堺市）	nd	0.9
	福岡市	13	博多湾	nd	0.9
	佐賀県	14	伊万里湾	nd	0.9

(注1)「検出頻度（地点ベース）」とは検出地点数/調査地点数（欠測等は除く）を、「検出頻度（検体ベース）」とは検出検体数/調査検体数（欠測等は除く）をそれぞれ意味する。

(注2) ---：欠測等

(注3)「欠測等」とは、測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体

(注4) nd：不検出

(注5) ※：参考値（調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない）

調査対象物質	地方 公共団体	地点 番号	調査地点	測定値	報告時
				検体1	検出下限値
[14] 3-(4-メチルベンジリデン)-1,7,7-トリメ チルピシクロ[2.2.1]ヘプタン-2-オン 初期環境調査・水質(ng/L) 地点ベース検出頻度：0/17(欠測等：0) 検体ベース検出頻度：0/17(欠測等：0) 検出範囲：nd 検出下限値範囲：140～440 検出下限値：440 要求検出下限値：20,000	宮城県	1	迫川三ツ屋橋（登米市）	nd	140
		2	白石川さくら歩道橋（柴田町）	nd	140
	秋田県	3	米代川鷹巣橋（北秋田市）	nd	140
		4	秋田運河（秋田市）	nd	140
		5	雄物川岳見橋（大仙市）	nd	140
	千葉県	6	養老川・浅井橋（市原市）	nd	440
	東京都	7	荒川河口（江東区）	nd	140
		8	隅田川河口	nd	140
	横浜市	9	鶴見川亀の子橋（横浜市）	nd	140
		10	横浜港	nd	140
	富山県	11	井田川高田橋（富山市）	nd	140
	愛知県	12	名古屋港	nd	140
	名古屋市	13	堀川港新橋（名古屋市）	nd	140
	大阪府	14	大和川河口（堺市）	nd	140
	岡山県	15	旭川乙井手堰（岡山市）	nd	440
		16	水島沖	nd	440
	佐賀県	17	伊万里湾	nd	140

(注1)「検出頻度（地点ベース）」とは検出地点数/調査地点数（欠測等は除く）を、
 「検出頻度（検体ベース）」とは検出検体数/調査検体数（欠測等は除く）をそれぞれ意味する。

(注2)「欠測等」とは、測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体

(注3) nd：不検出

調査対象物質	地方 公共団体	地点 番号	調査地点	測定値			報告時 検出下限値
				検体1	検体2	検体3	
[3] 1,1-ジクロロエチレン (別名: 塩化ビニリデン) 初期環境調査・大気(単位: ng/m ³) 地点ベース検出頻度: 4/17(欠測等: 0) 検体ベース検出頻度: 8/51(欠測等: 0) 検出範囲: nd~2,700 検出下限値範囲: 0.51~19 検出下限値: 19 要求検出下限値: 1,800	札幌市	1	札幌市衛生研究所(札幌市)	nd	nd	nd	19
	福島県	2	上中田一般環境大気測定局(いわき市)	2,700	1,600	690	5.2
	埼玉県	3	埼玉県環境科学国際センター(加須市)	nd	nd	nd	4.9
	千葉県	4	市原五井一般環境大気測定局(市原市)	69	85	48	0.51
	東京都	5	東京都環境科学研究所(江東区)	nd	nd	nd	19
		6	小笠原父島(小笠原村)	nd	nd	nd	18
	神奈川県	7	神奈川県環境科学センター(平塚市)	nd	nd	nd	5.3
	横浜市	8	横浜市環境科学研究所(横浜市)	※3.9	nd	nd	2.7
	静岡県	9	掛川市役所(掛川市)	20	nd	※18	5.0
	愛知県	10	刈谷市寿町(刈谷市)	nd	nd	nd	4.8
	名古屋市	11	千種区平和公園(名古屋市)	nd	nd	※14	2.8
	大阪府	12	守口市第二一般環境大気測定局(守口市)	nd	nd	nd	5.9
	山口県	13	山口県環境保健センター(山口市)	nd	nd	nd	19
		14	宮の前児童公園一般環境大気測定局(周南市)	nd	nd	nd	19
	香川県	15	香川県高松合同庁舎(高松市)	nd	nd	nd	12
	佐賀県	16	佐賀県環境センター(佐賀市)	nd	nd	nd	19
	宮崎県	17	新延岡自動車排出ガス測定局(延岡市)	nd	420	※12	5.0
[9] トリエチルアミン 初期環境調査・大気(単位: ng/m ³) 地点ベース検出頻度: 3/16(欠測等: 1) 検体ベース検出頻度: 6/48(欠測等: 3) 検出範囲: nd~210 検出下限値範囲: 4.4~11 検出下限値: 11 要求検出下限値: 1,800	札幌市	1	札幌市衛生研究所(札幌市)	nd	nd	nd	4.4
	埼玉県	2	埼玉県環境科学国際センター(加須市)	nd	※6.5	nd	4.7
	さいたま市	3	さいたま市保健所(さいたま市)	nd	※5.3	※5.0	4.7
	東京都	4	東京都環境科学研究所(江東区)	nd	nd	20	8.1
		5	小笠原父島(小笠原村)	nd	nd	nd	8.0
	神奈川県	6	神奈川県環境科学センター(平塚市)	nd	nd	nd	4.5
	富山県	7	新湊三日曾根一般環境大気測定局(新湊市)	nd	36	48	4.7
	石川県	8	石川県保健環境センター(金沢市)	nd	nd	nd	8.1
	愛知県	9	豊川市役所(豊川市)	19	57	210	8.1
	三重県	10	三重県保健環境研究所(四日市市)	nd	nd	nd	8.0
	兵庫県	11	尼崎市南部一般環境大気測定局(尼崎市)	nd	nd	nd	7.1
	和歌山県	12	和歌山県環境衛生研究センター(和歌山市)	nd	nd	nd	11
	香川県	13	香川県高松合同庁舎(高松市)	---	---	---	---
	福岡県	14	福岡県宗像総合庁舎(宗像市)	nd	nd	nd	8.1
		15	大牟田市役所(大牟田市)	nd	nd	nd	8.1
	北九州市	16	北九州観測局(北九州市)	nd	nd	nd	8.0
	佐賀県	17	佐賀県環境センター(佐賀市)	nd	nd	nd	4.7
[10] 2,4,6-トリクロロフェノール 初期環境調査・大気(単位: ng/m ³) 地点ベース検出頻度: 0/14(欠測等: 0) 検体ベース検出頻度: 0/42(欠測等: 0) 検出範囲: nd 検出下限値範囲: 4.5~13 検出下限値: 13 要求検出下限値: 200	北海道	1	北海道立総合研究機構環境科学センター(札幌市)	nd	nd	nd	4.6
	茨城県	2	茨城県霞ヶ浦環境科学センター(土浦市)	nd	nd	nd	4.6
	埼玉県	3	埼玉県環境科学国際センター(加須市)	nd	nd	nd	4.6
	神奈川県	4	神奈川県環境科学センター(平塚市)	nd	nd	nd	4.6
	石川県	5	石川県保健環境センター(金沢市)	nd	nd	nd	13
	長野県	6	長野県環境保全研究所(長野市)	nd	nd	nd	4.6
	名古屋市	7	千種区平和公園(名古屋市)	nd	nd	nd	12
	三重県	8	三重県保健環境研究所(四日市市)	nd	nd	nd	13
	京都府	9	京都府保健環境研究所(京都市)	nd	nd	nd	4.6
	京都市	10	京都市役所(京都市)	nd	nd	nd	4.6
	兵庫県	11	兵庫県環境研究センター(神戸市)	nd	nd	nd	13
	徳島県	12	徳島県立保健製薬環境センター(徳島市)	nd	nd	nd	4.6
	香川県	13	香川県高松合同庁舎(高松市)	nd	nd	nd	4.6
	佐賀県	14	佐賀県環境センター(佐賀市)	nd	nd	nd	4.5

(注1)「検出頻度(地点ベース)」とは検出地点数/調査地点数(欠測等は除く)を、「検出頻度(検体ベース)」とは検出検体数/調査検体数(欠測等は除く)をそれぞれ意味する。

(注2) --- : 欠測等

(注3)「欠測等」とは、測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体

(注4) nd : 不検出

(注5)※ : 参考値(調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない)